



過去にはこんな洪水が (昭和56(1981)年 昭和56(1981)年 洪水による災害の概要)

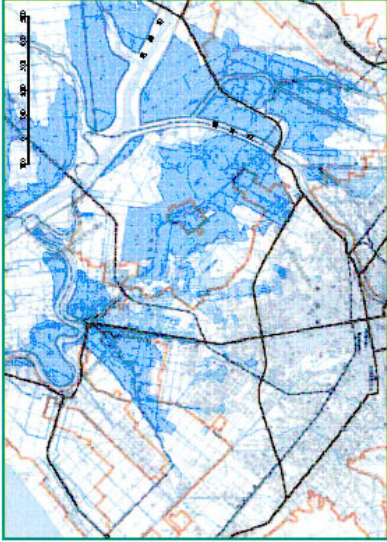
昭和56(1981)年8月、樺太中部に発達した低気圧から南にのびる前線が北海道中央部に停滞し、これに北上した台風12号の影響が加わって豪雨となりました。石狩川流域では3日夕方から6日朝まで雨が降り続いた結果、その総雨量は札幌で294mmを記録し、大洪水を引き起こしました。さらに、その約2週間後の23日、追い打ちをかけるように台風15号が北海道を襲い、総雨量229mmもの豪雨が再び発生したことによって、二度目の記録的な大洪水をもたらしました。

これらの大洪水は、観測史上最大の降雨量、流量を記録し、北海道全域で死者3人、氾濫面積61.4km²、被害家屋約30,991戸もの甚大な被害を及ぼしました。この洪水の特徴は、石狩川の一部で、水が堤防を越えて溢れ出したばかりでなく、水位が増した石狩川に流れ込めない支流や排水路などの水が溢れる被害が目立った点でした。

● 札幌の被害概要(二度の洪水の被害合計)

- ・死者1人、負傷者1人
- ・家屋全半壊13戸、床上浸水1,942戸、床下浸水14,613戸
- ・田畑冠水4,214ha
- ・河川被害209箇所、道路被害159箇所、その他施設被害463箇所

※近年において、昭和56(1981)年以降(平成8(1994)年あるいは平成13(2001)年において)、中小河川の氾濫実績はないため、昭和56(1981)年の水害実績のみを示す。
 ※出典:「水害:北海道自衛隊団・北海道、札幌市川防務課業務区域における被災写真集(昭和56(1981)年8月23日洪水)北海道自衛隊団・札幌市、国土交通省北海道開発局石狩川防務課 認知ホームページ」
<http://www.kaihojic.com/02.html#02.html>
 「札幌の河川」札幌市建設局土木部河川課



札幌市水害実情図 昭和56(1981)年



大洪水時の豊平川 昭和56(1981)年



過去にはこんな洪水が

札幌市でも過去には大きな水害が起きています。特に昭和56年(1981年)8月には、二度の豪雨に見舞われました。一度目は8月3日から4日にかけて樺太中部に発達した低気圧から南にのびる前線が北海道中央部に停滞し、これに北上した台風第12号の影響が加わって豪雨となり、石狩川流域では3日夕方から6日朝まで雨が降り続きました。その総雨量は札幌で294mmを記録し大洪水を引き起こしました。

さらに、その約2週間後の8月21日から23日、追い打ちをかけるように台風第15号が北海道を襲い総雨量229mmもの豪雨が再び発生したことによって二度目の記録的な大洪水をもたらしました。

これらの大洪水は、観測史上最大の降雨量、流量を記録し北海道全域で死者3人、氾濫面積614km²、被害家屋約30,991戸もの甚大な被害を及ぼしました。

この洪水の特徴は、石狩川の一部で水が堤防を越えて溢れ出したばかりでなく、水位が増した石狩川に流れ込めない支流や排水路などの水が溢れる被害が目立った点でした。

- ・ 札幌の被害概要(二度の洪水の被害合計)
 死者1人、負傷者1人、家屋全半壊13戸、床上浸水1,942戸、床下浸水14,613戸、田畑冠水4,214ha、河川被害209箇所、道路被害159箇所、その他施設被害463箇所

(洪水危機管理シンポジウム:札幌市洪水ハザードマップについて)